

国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター ニュースレター
開所20周年記念号

Lagoon

2021.4
No.16

枝状ミドリイシとスズメダイの群れ（崎山湾）

はじめに



国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターは、開所から20年を迎えました。地域のみならず、関係者みなさまをはじめ多くの方にお力添えを賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

今回、当センターのニュースレター「Lagoon」を開所20周年記念号として発行することとなりました。

地元小学校児童とのワークショップとWEB配信イベント「サンゴSHOW おうちでカフェ～サンゴ礁と歩んできた20年～」を開催しましたので、その様子をお伝えします。

新しい表札に期待

琉球大学名誉教授 土屋 誠

国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター（以下、センター）の新たな出発にあたり、表札が新調されました。リュウキュウマツの美しい板に、石垣市立八島小学校の5年生の皆さんがサンゴの骨のかげらや貝をセンターの名前の形に貼り付け、楽しそうに作ってくれました。

このセンターは「サンゴセンター」という愛称で親しまれており、サンゴ礁について誰でも勉強できるように展示が工夫されています。環境教育などに関する活動は実に活発です。関係者のご尽力に敬意を表します。

この愛称には、「国際」、「研究」、「モニタリング」という正式名称にある3つの単語が使われていません。建物に入る前に出会う表札の意味が本当に理解されているか、気になりました。

モニタリングとは継続的に監視・観測することです。環境省は八重山のサンゴ礁のモニタリングを1983年から実施しています。長年、モニタリングを進めた結果、どんなことがわかってきたのだろうか？解析の結果、気になることが見つかった場合の対応、今後の課題などがわかりやすく紹介されているといいな、と思いました。多くの皆さんに「ぜひ何度も行ってみたい」と言ってもらえる施設になることを期待します。

環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターとは

活動紹介

2000年5月12日、サンゴ礁の保全や自然再生を進めていくため、国際的なサンゴ礁保全の枠組みである国際サンゴ礁イニシアティブ（ICRI）の取組みを推進する東アジア海における地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク（GCRMN）の拠点として、サンゴセンターが設置されました。

情報の収集や提供、研究

石垣島周辺や石西礁湖を中心に、サンゴ礁のモニタリング調査を実施しています。



オニヒトデの大発生など生態系のバランスの変化、地球温暖化による海水温の上昇や気候変動など地球規模のできごとだけでなく、私たち人間の様々な活動の影響を受けてサンゴ礁は絶えず変化しています。

サンゴ礁を保全するためには、サンゴが弱ったり、また回復したりを繰り返すサンゴ礁の現状を継続して把握すること、つまりモニタリング調査が不可欠です。モニタリング結果は、今後の保全活動や調査に活用しています。得られた最新の調査結果や自然再生に関する取組などはウェブサイトでも発信しています。

国際機関との連携

2017年、ミクロネシア地域の拠点として設立されたパラオ国際サンゴ礁センターとサンゴ礁生態系保全に関する協力覚書の署名が行われ、情報交換や交流を行うなど積極的に連携を図っています。



（パラオ国際サンゴ礁センター）



（職員の交流）

普及啓発

サンゴ礁の保全は1人でも多くの人がサンゴ礁の重要性を理解することから始まります。

私たちの生活に深く関わってくるサンゴ礁の重要性や保全の必要性を、より深く理解してもらうため、パンフレットやパネルを作成し展示を行うとともに、学校や地域の方の協力を得て実施するサンゴ学習の支援や、西表石垣国立公園をはじめとする各フィールドを利用した普及啓発活動も行っています。

【子ども自然ふれあい事業】

小中学校に向け、出前授業や総合的な学習の時間と連携した体験学習などでサンゴの学習を行っています。



【海の自然教室】

開所当初から毎年「海の自然教室」と題したスノーケル観察会を開催しています。



【その他・各種イベント】

その他、各種イベントの開催や、外部イベントでのパネル展示、講演会なども行っています。



（沖縄気象台主催 お天気教室）



（国際サンゴ礁年2018 やえやまサンゴカフェ）

サンゴセンター 20年の歩み

サンゴセンターの歩みを語るうえで欠かせない重要なできごとを年表にまとめました。

石西礁湖の自然再生をはじめとしたサンゴの保全活動は、地元のみなさん、研究者や関係機関の方などの連携により少しずつ成果がでてきました。一方で、まだまだ多くの課題があります。

サンゴセンターはこれからも自然再生の取組や情報発信に全力を尽くします。



西暦・和暦	センター年齢	サンゴセンターのできごと
2000年 平成12年	0歳	・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター開所
2004年 平成16年	4歳	・有性生殖法によるサンゴ修復事業を開始
2006年 平成18年	6歳	・石西礁湖自然再生協議会設立
2007年 平成19年	7歳	・石垣島が国立公園に編入、「西表石垣国立公園」となる ・夏期海水温上昇によるサンゴの大規模白化 ・石西礁湖自然再生全体構想策定
2009年 平成21年	9歳	・石西礁湖自然再生行動指針【陸域対策】発表
2016年 平成28年	16歳	・環境省「サンゴ礁保全行動計画2016-2020」策定 ・夏期海水温上昇によるサンゴの大規模白化 ・サンゴ大規模白化緊急対策会議
2018年 平成30年	18歳	・国際サンゴ礁年2018 ・自然再生全体構想「短期目標」の評価 ・「自然再生全体構想2019-2023行動計画」策定
2020年 令和2年	20歳	・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター20周年 ・新たな修復事業の検討・実施

環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター 20周年記念イベント

3月5日ワークショップ

地元小学生にサンゴが身近であることを体感して興味や関心をもってもらい、サンゴ礁保全に取り組むきっかけになるように3月5日（サンゴの日！）に石垣市立八島小学校においてサンゴを学ぶミニ講座やワークショップを行いました。

ミニ講義 ～土屋先生～

「サンゴ礁への恩返し」と題し、サンゴの現状を説明しながら、問題やサンゴのためにできることについて丁寧にお話して頂きました。サンゴについての質問がたくさん飛び交い、楽しく学ぶことができました。



新聞発表



児童たちが発表したサンゴ新聞に対し、土屋先生からの質問もあり、より深い学習の時間となりました。

サンゴ礫を使った看板リニューアル

【看板デザイン案作成】

グループごとに、色々な大きさや形のサンゴ礫や貝殻、シーグラスを組み合わせ、サンゴの特長を観察しながら個性あふれたデザイン案を作成しました。



【看板作成】

デザイン案をもとに素材をリュウキュウマツの木板に貼り付けました。ゴム手袋をはめ、超強力接着剤に苦戦しながらも全員で完成させました。



看板は翌日 WEB 配信イベントでお披露目しました！

サンゴ SHOW でおうちカフェ ～サンゴ礁と歩んできた 20年～

サンゴセンター 20周年記念イベント

～WEB 配信～

サンゴ礁やサンゴセンターに親しみを持ってもらい、少しでも、サンゴ礁のためにできることを考えてもらう機会にすることを目的として、20周年記念イベントを初の試みであるWEB配信で開催しました。

【ポスター】



看板お披露目

～八島小学校5年生制作～



代表の児童2名が出席し、看板を披露していただきました。代表の児童は「文字に合ったサンゴを見つけるのが難しかったけど、大きなサンゴ、小さなサンゴなど、色々な大きさや形のサンゴがあることに驚いた。」と感想を語ってくれました。

この看板が、当センターの新しい顔になります！



サンゴ SHOW でおうちカフェ ～サンゴ礁と歩んできた20年～

トークセッション「サンゴってなに？」

～土屋先生&きいやま商店～

サンゴって動物って知ってましたか？土屋先生がきいやま商店からの質問に答えながら、サンゴの基本的なことを視聴者のみなさんと一緒におさらいしました。

サンゴは一見、植物のようにも見えますが、クラゲやイソギンチャクの仲間しほろで毒針を持つ刺胞動物に分けられます。植物プランクトンかっちゅうそう（褐虫藻）と共生し、昼間は光合成する褐虫藻から栄養をもらっています。



トークセッション「サンゴと歩んだ20年」

～土屋先生&石垣自然保護官事務所職員～

サンゴセンターで行われてきた20年の取組を、八重山のできごとと一緒に振り返りました。これまでの20年に成し遂げたこと、これからの課題などが見えてきました。



ミニライブ「サンゴ SHOW TIME」

～きいやま商店～

お待ちかねのサンゴ・サポーター「きいやま商店」によるミニライブです！サンゴ保全再生応援ソング「1、2、サンゴー！」も披露していただき、サンゴを守ろうというメッセージを画面の向こう側の多くの視聴者にも届けてくださいました。



講演「サンゴと魚はお友だち！？ ～サンゴと生き物のつながり～」

～水産総合技術研究所 主任研究員 名波先生～

サンゴ礁を住処とし、サンゴをエサとする魚の生態について、お話いただきました。動画を交えた説明は分かりやすく学ぶことができました。



環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターは、地域の方や関係機関、団体など、たくさんの方に支えていただき、20周年を迎えることができました。開所20周年記念イベント「サンゴ SHOW でおうちカフェ ～サンゴ礁と歩んできた20年～」を通し、感謝を伝えることができました。

八重山の、日本の、世界のサンゴ礁を守るため、これからも多くの方とともに一歩一歩進んでいきます。「これからの20年、100年に向けて、私たち1人1人が“今”できること」を進めていただければ幸いです。

発行元 環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター
(沖縄奄美自然環境事務所石垣自然保護官事務所)



施設のご利用を希望される方は、下記までお電話か電子メールでご連絡ください。

開館時間 8:30～17:15

休館日 土日祝日・年末年始

利用料 無料

〒907-0011 沖縄県石垣市八島町2-27

TEL: 0980-82-4768 FAX: 0980-82-0279

電子メール: coremoc@sirius.ocn.ne.jp

URL: <http://kyushu.env.go.jp/naha/coremoc/about.html>



展示

常設展示を行っております。不定期ですが、企画展示も行っています。お気軽にお立ち寄りください。

